

JRR-3運転再開シンポジウム

日時： 2020. 11.11. **水** 9:00 - 12:00

形式： **Zoom**によるオンライン開催 (YouTube同時配信)

参加費：無料、<https://www.jsns.net/jsns2020-opensession>
から参加登録をお願いします。



JRR-3は、震災以来10年にわたり運転を休止しておりましたが、関係者の多大なる努力により来年2月に待望の運転再開を迎えます。この運転再開により、定常中性子源JRR-3 とパルス中性子源J-PARC MLFという2つの大型中性子源がわずか1kmの距離に在るという世界屈指の中性子ビーム利用体制が初めて整います。また、本年11月には、運転再開に合わせてビーム利用課題の公募も開始します。本シンポジウムでは、日本中性子科学会第20回年会の場をお借りしてJRR-3への期待を学术界や産業界から寄せていただき、運転再開への気運を盛り上げたいと考えています。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

プログラム

➤ 趣旨説明

9:00 ~ 9:05 原子力機構 物質科学研究センター長 武田 全康

➤ 来賓挨拶と祝辞

9:05 ~ 9:15 文部科学省

9:15 ~ 9:20 AONSA President (China Institute of Atomic Energy)

Prof. DongFeng Chen

➤ JRR-3の概要と現状

9:20 ~ 9:40 原子力機構 原子力科学研究所 研究炉加速器技術部長 村山 洋二

➤ 特別講演

9:40 ~ 10:10 「JRR-3の役割と期待」(仮) 大阪大学名誉教授 川村 光

休憩 10:10 ~ 10:25

➤ JRR-3とMLFの協奏時代に向けて

10:25 ~ 10:55 「産業利用におけるJRR-3への期待」(仮)
中性子産業利用推進協議会 研究開発委員会委員長 日比 政昭

10:55 ~ 11:25 「MLFとJRR-3利用研究のあるべき姿」(仮) 日本中性子科学会会長
加倉井 和久

11:25 ~ 11:55 「MLFから見たJRR-3への期待」(仮)
J-PARCセンター 物質・生命科学ディビジョン長 大友 季哉

➤ 閉会の挨拶

11:55 ~ 12:00 原子力機構 理事 三浦 幸俊

主催：日本中性子科学会

共催：日本原子力研究開発機構、東北大学金属材料研究所、東北大学多元物質研究所

後援：総合科学研究機構中性子科学センター、J-PARCセンター物質・生命科学実験施設、高エネルギー加速器研究機構物質構造材料科学研究所中性子施設、東京大学物性研究所、京都大学複合原子力科学研究所

協賛：中性子産業利用推進協議会、日本加速器学会、日本物理学会、日本鉄鋼協会、精密工学会、日本放射光学会

お問い合わせ：長壁 豊隆 (原子力機構)、藤田 全基 (東北大学) e-mail : jsns2020@imr.tohoku.ac.jp